

諏訪地方の 経済概況 速報

2015.09

2015年8月末調査／2015年9月28日発行

SUWA AREA
ECONOMIC
OVERVIEW



諏訪信用金庫
SUWA SHINKIN BANK

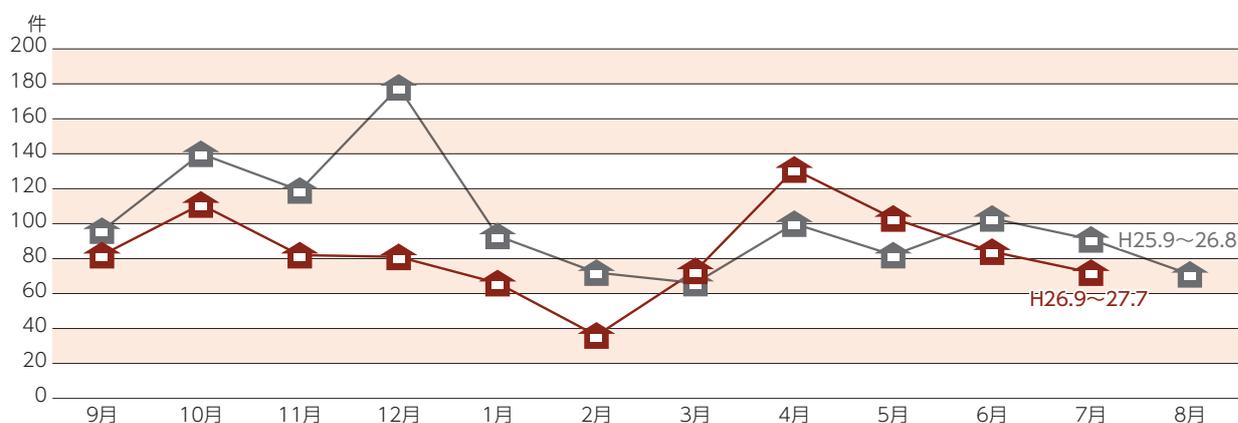
諏訪地方の概況

8月は、中国経済の減速を起点とする世界の金融市場の動揺が続き、日経平均株価が乱高下し、円相場も一時上昇傾向となった。中国に関連する企業が多い諏訪地方の製造業は、直接的な影響を受けている企業は少ないものの、先行きを不安視する見方もある。自動車関連や電子・デバイス関連で低調な動きも見られるが、専用機や省力化機械など設備関連は堅調な動きで、総体的には緩やかな改善傾向が続いている。一方、8月の諏訪地方の天候は、上旬に記録的な暑さとなり、高原の観光地は避暑需要でにぎわい、商業でも飲料や熱中症対策用品などの売上が好調だった。有効求人倍率はリーマン・ショック直前の高水準で、労働力確保が経営課題となる企業もある。

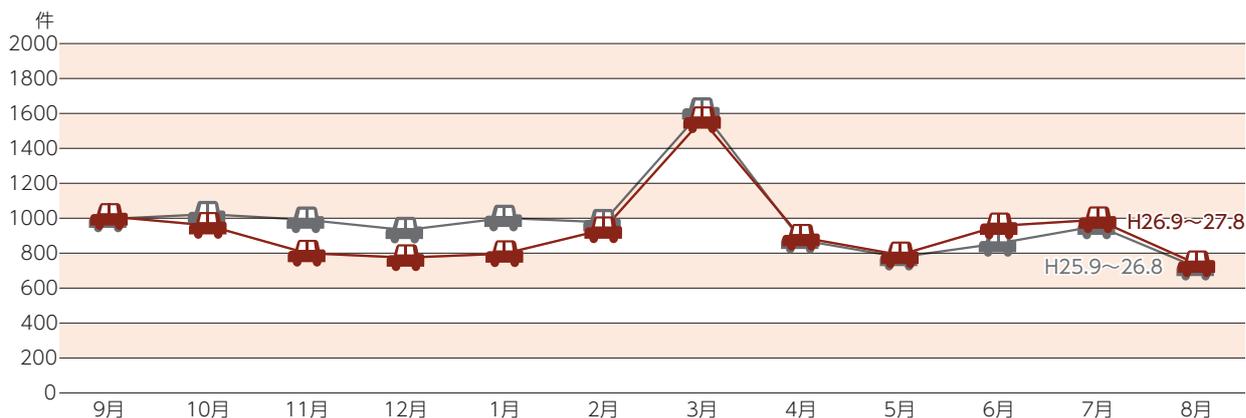
(諏訪信用金庫の取引先約130社へのヒアリング調査による取りまとめ)

		実数	前年同期比
有効求人倍率【7月】(諏訪公共職業安定所管内)		1.24倍	0.10ポイント
手形交換高【8月】(諏訪手形交換所扱)	枚数	5,677枚	967枚
	金額	8,147百万円	2,499百万円
	うち不渡り発生状況	枚数	0枚
	金額	0千円	△1,000千円
電力使用量【8月】(中電諏訪営業所管内)	電灯電力計	45,133MWh	1.0%
	高圧電力計	96,284MWh	△1.3%
	合計	141,417MWh	△0.6%
車庫証明取扱件数【8月】(諏訪地方合計)		739件	2.6%
新設住宅着工戸数【H27年4月～7月】(諏訪管内)		390戸	3.7%

■新設住宅着工件数の推移(諏訪地方合計)



■車庫証明件数の推移



中国経済の失速感が世界経済の暗雲となり、日経平均株価が一時リーマン・ショック直後以来の下げ幅となって乱高下し、円相場も不安定な動きをしたことなどから、諏訪地方の企業からは中国経済に対する不安の声が上がり始めた。製造業は輸送用機械で自動車関連が、総体的にやや低調に推移している。一方、一般機械は設備関連の需要が続き、省力機械や搬送用機械、検査機械などは好調を持続している企業が多い。ただ、中国や東南アジア向けは動きが鈍くなっている。金属製品加工の受注も堅調に推移する分野もあるが、自動車関連に不透明感があり、先行きが見通せない状況がある。電気機械は、通信関連機器や電源装置関連などで一部好調が続く企業があるが、半導体関連は企業によってまちまち。精密機械は、企業間格差があるが、高級機種カメラレンズ、監視カメラ関連は堅調に推移している。

<p>金属製品 プレス、メッキ、熱処理など</p>	<p>主力取引先が長期の盆休みのため、受注が例年以上に落ち込んだ企業や盆明けに集中した受注の対応に追われた企業があった。自動車関連は総体的に量産が減少傾向の中で、受注が安定している企業もあるが、一時的な落ち込みがあったり、単価引き下げ要請が強く収益面で厳しさを感じる企業もある。先行き不透明感を持つ企業が多くなっている。</p>
<p>一般機械 工作機械、専用機械、省力機械、検査機械など</p>	<p>自動車関連は中国、東南アジア向けが低調で、北米向けは好調に推移する傾向となっている。搬送用機械は、大手企業の設備投資が好調で食品、自動車、医薬品、スマホ用液晶ガラスなど全般的に安定している。米国向け機械製造では、金利引き上げを視野に入れた大口発注に追われる企業がある。省力機械は取引先の設備投資で繁忙となり、一部では部品加工業者が手一杯で間に合わない状況となっている。スマートフォン関連には一服感も見られる。</p>
<p>電気機械 家電、パソコン、情報機器、電子デバイス、半導体関連など</p>	<p>光ファイバー関連など情報機器分野の一部で、フル稼働で好調を持続している企業があるが、多くは競争が激しく、取引先の生産調整の影響などもあって受注の増減に波があり、先行きが見通しにくい状況となっている。電源装置関連や医療機器関連の受注は引き続き安定して推移している。半導体関連は堅調な企業もあるが、総体的にやや鈍い動きだった。</p>
<p>輸送用機械 自動車関連、ピストンリング、船外機、航空機部品など</p>	<p>自動車関連はメーカーや取扱い部品によって差があるものの、総体的に国内生産は動きが鈍いまま推移している。海外工場では増産している企業もあるが、コストダウン要請もあり、収益確保が難しい面もある。今後の中国経済の動向を懸念する声が多い。ただ、試作の量産化見込みや受注量の回復のめどがある企業も見られる。増加基調で推移していた船外機も欧州向けの不振、中国や新興国向けの受注動向変化で減少に転じている。</p>
<p>精密機械 時計、カメラ、光学機器、計量器、医療機器など</p>	<p>企業の繁忙度合いに格差が見られる。カメラの高級機種関連などで受注が増加し、休日返上、残業で対応し、盆も稼働した企業がある反面、主力取引先からの受注が減少した企業がある。設備投入で作業時間短縮、品質向上を図る企業もある。五輪関連で監視カメラの需要が高まっているが、本格的な受注はまだ先の見通しとなっている。</p>
<p>製造業全般</p>	<p>衣料品製造は、主力取引先からの高級品を中心とした受注が増加傾向の企業がある。現在は秋冬物生産が主体。円安による輸入材料の高騰で、収益面では影響がある。寒天は道の駅の売上が好調で、スーパー向けは減少。盆過ぎの悪天候の影響もあって問屋関係も微減となっている。</p>

商業

「猛暑関連商品の売れ行きが伸び」

8月前半は好天、高温が各方面に影響した。スーパーなどではビールや飲料水、氷菓の売れ行きが良く、ギフト関連も好調に推移した。熱中症や紫外線対策関連商品も好調に推移した。飲食店では盆期間中の来店客が多く、家族連れや帰省客の利用が目立った店舗もある。ただ、天候不順になった後半は、やや低調になった。依然、パートやアルバイトの確保に苦慮する店舗も多い。自動車販売（軽を除く）は、諏訪地方の8月の車庫証明件数が739件で、前年同月比19件、2.6%増加した。消費増税の影響を受けていた前年に比べて5ヶ月連続の増加となった。

衣料	気温上昇などで夏物の軽衣料は好調だった。店頭へ夏物を置く期間を延長した店舗もあった。
食料品	葉物野菜関係が値上がり傾向で、国産牛肉も値上がりしている。引き続き、食品関連の値上がりを懸念する店舗が多い。
家電製品	猛暑でエアコンや扇風機の売れ行きが好調だった。一方で、年配の常連客が多い店舗では外出を控える傾向で、客足が鈍った。
自動車	県内の8月の新車新規登録台数は、登録車が2ヶ月ぶりに増加し、軽自動車は8ヶ月連続で減少した。全体では前年同月比245台増加（3.6%）の7,119台で、2ヶ月ぶりに増加した。
ホームセンター	熱中症対策のタオル類が例年より増加した。農作業用の虫除けスプレー、園芸用の支柱なども好調だった。

観光・サービス業

「前半は好天で高原の観光地にぎわう」

諏訪地方の天候は、7月24日から8月10日まで18日間連続で30度以上の真夏日を観測する一方で、盆過ぎは日照時間が平年より少なかった。盆までの天気が安定していたことから高原の観光地は避暑客などでにぎわいを見せた。雨が多かった前年に比べ、売上を伸ばした施設が多いが、同じく猛暑だった一昨年に届かない施設もあり、北陸新幹線開通などの影響も考えられている。

上諏訪温泉	宿泊客数は前年同月比で80%～100%台だった。海外からの旅行者は前年増で、依然台湾を中心に堅調に推移している。総体的に8月は前半と後半の入り込みが鈍く、盆期間はおおむね前年並みの集客だった。今年の紅葉シーズンは、貸し切りバスの料金改定による値上がりの影響から団体客の減少が懸念されている。
蓼科・白樺湖・車山等	猛暑・好天で前半は好調な施設が多く、夏山登山客のほか、避暑の観光客が大幅増加した。富士見方面では現地イベントと諏訪湖花火大会をセットにした企画や学生の合宿が好調だった。ただ、従来夏場に増加するバス旅行者は減少傾向だったと見られる。後半は長雨の影響で、個人客のキャンセルが続出した施設もあった。
下諏訪温泉	例年に比べて予約が早く満館となった施設がある。9月の新作花火やフィナーレの知名度が上がり、予約も好調な動きとなっている。ただ、週末やイベント開催日を除くと予約の動きは鈍い。
諏訪大社	上社・下社合わせた8月の参拝者数は約66千人。前年同月比では約2百人の減少（△0.3%）で、ほぼ同水準だった。

建設業

「小口ながら公共工事の発注が活発化」

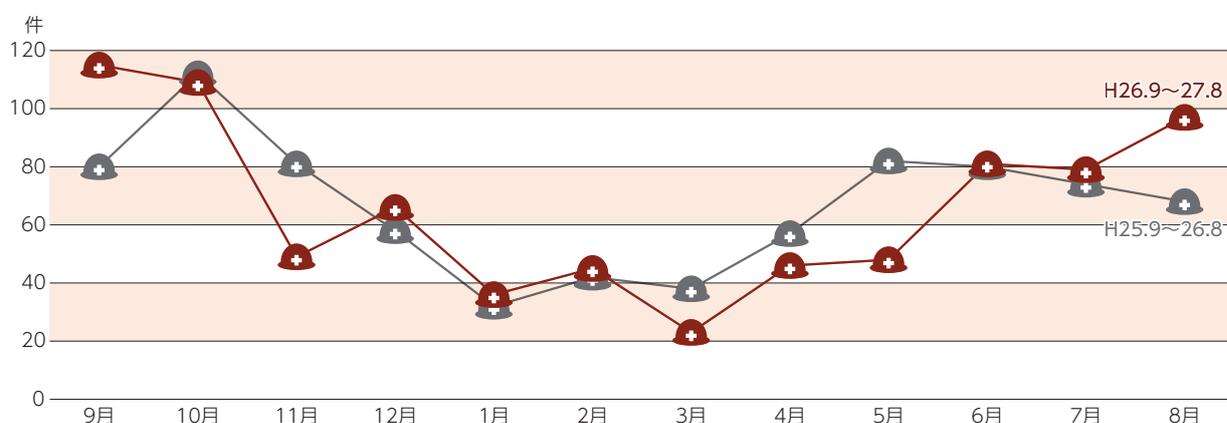
8月の市町村からの受注工事は、合計97件、1,449百万円となった。前年同月に比べ、件数は29件増加し、契約金額も714百万円増加した。一方、国県関係の4～8月の累計公共工事（地元業者受注分）は前年同期累計比で件数は増加したが、契約金額は減少した。補正予算があった25年度、26年度に比べて小口化しているが、例年通りの動きとなっている。民間工事は、諏訪地方の7月の新設住宅着工戸数が72戸で、前年同月比19戸の減少（△20.9%）となった。

公共工事	8月に地元業者が受注した国県関係の公共工事は、諏訪建設事務所11件、林道治山工事関係2件、農地整備課3件の合計16件で、契約金額は587百万円だった。平成27年4月～8月の累計は57件、2,154百万円となり、前年同期の累計比で件数は10件増加したが、契約金額は410百万円減少（△16.0%）した。 市町村からの8月の受注工事は、茅野市の（仮称）市民活動センター建設工事や小中学校耐震化工事などがあり、建築工事21件803百万円、土木工事及び下水道工事57件476百万円、その他工事19件170百万円となった。
民間工事	諏訪地方の7月の新設住宅着工戸数は、前年同月比の利用関係別で「持家」は28戸減少の55戸、「貸家」は14戸増加の14戸、「分譲」は5戸減少の3戸となった。平成27年4月～7月の累計は390戸で、前年同期比14戸増（3.7%）となっている。 長野県内の7月の新設住宅着工戸数は1,208戸で、前年同月比30.0%増加した。前年同月比の利用関係別では、「持家」が679戸で4.9%増加、「貸家」は310戸で46.9%増加、「給与」は3戸で皆増、「分譲」は216戸で204.2%増加した。

■諏訪地方の7月の新設住宅着工状況

区分 市郡名	合計 戸数	前 年	利用関係別								構造別			
			持家	前年	貸家	前年	給与	前年	分譲	前年	木造	前年	非木造	前年
岡谷市	5	19	5	19	0	0	0	0	0	0	3	17	2	2
諏訪市	14	18	12	13	0	0	0	0	2	5	13	16	1	2
茅野市	36	26	21	23	14	0	0	0	1	3	31	24	5	2
諏訪郡	17	28	17	28	0	0	0	0	0	0	15	25	2	3
合計	72	91	55	83	14	0	0	0	3	8	62	82	10	9

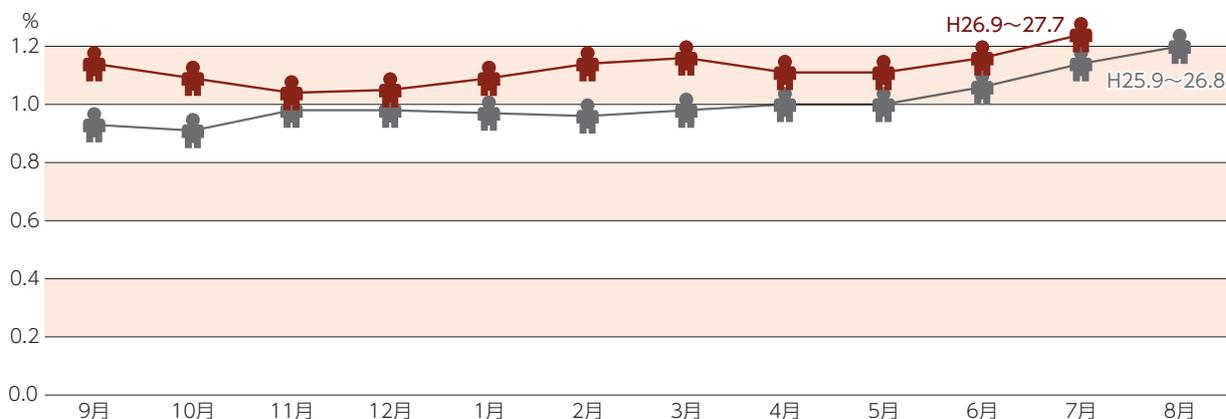
■公共工事の推移（市町村合計件数 調査・測量・設計など業務委託は除く）



諏訪地方の7月の有効求人倍率は、前年同月を0.10ポイント上回り、前月を0.08ポイント上回る1.24倍となった。リーマン・ショック直前の平成20年8月以来、6年11ヶ月ぶりの高水準となった。1倍台の維持は16ヶ月連続で、前年同月を上回るのは26ヶ月連続となった。「労働力確保」が経営上の課題となっている企業が多い。全国平均は1.21倍で平成4年2月以来、23年5ヶ月ぶりの高水準となった。全国的に、求人数の増加が続いて採用が増加し、求職者が減少しているため、改善傾向が持続している。さらに、長野県平均は1.26倍で、13ヶ月連続で全国平均を上回っている。

諏訪地方の新規求人(全数)は1,733人で、前年同月比5人増加(0.3%)した。要因別では「継続する人員不足」「創業・新分野展開」「業務量増大」が増加し、「欠員補充」は減少した。業種別の前年同月比の新規求人数は、「卸・小売業」「医療・福祉業」で増加し、「建設業」で減少した。新規求職者数は799人で、前年同月比17人減少(△2.1%)した。1件10人以上の人員整理は2件31人、事業主都合による雇用保険資格喪失者は82人で、前年同月比39人増加し、前月比でも49人増加した。

■有効求人倍率の推移



《企業のひとこと》

- 中国経済減速の話は聞くものの、落ち込みの動きは感じられない(金属製品製造業)。
- 中国向けが非常に低調で、主要取引先からの受注が減少した(専用機製造業)。
- 中国経済の減速は不安材料で今後、落ち込みが予想される。ただ、長引かないのでは(輸送用機械製造業)。
- 求人倍率が高くなり、様々な数字では順調な企業が多くなっているようだが、どんな業種がそんなに忙しいのか疑問。周囲では、求人を出すほど忙しい企業は聞かない(精密機械製造業)。
- 足元の受注は旺盛で、現場は忙しい状況が続き、土木技術者の数が不足している(建設業)。
- 職人の手は空いてきている。新築案件が減少し、建築面積も小さくなる傾向がある(建設業)。
- 例年より盆用の切り花の動きが良かった。猛暑の影響で日持ちが悪く、帰省者らが供える回数を増やしたためと見られる(小売業)。
- 募集しても人が集まりにくく、これ以上従業員に負担をかけるとパンクしてしまう状況。困ったのでシルバーさんをお願いしている(小売業)。
- 学生の合宿が順調で、来年以降のリピーターになってくれることを期待する(観光業)。
- 中国人ツアーがあり、売上が増加した。10月にかけても予約が入っている(観光業)。

長野県の金融経済動向

(2015年9月4日) 日本銀行 松本支店

— 2015年の公表日の前営業日時点で利用可能であった情報をもとに取りまとめ。

長野県経済は、生産の一部になお弱さを残しつつも、緩やかに回復しつつある。

最終需要の動向をみると、公共投資は高水準ながら緩やかな減少傾向となっている一方、住宅投資は底堅く推移している。この間、設備投資は緩やかに増加している。また、個人消費は一部に弱さがみられるものの、緩やかに回復しつつある。

以上のような最終需要のもとで、生産は緩やかに回復しているものの、一部に弱さがみられる。雇用・所得は、着実な改善が続いている。

生産

IT関連では、半導体関連および電子部品は、スマートフォン向けの増勢に一服感がみられることなどから、生産は横ばい圏内の動きとなっている。

自動車関連では、北米向け等の海外需要が堅調なものの、国内向けで一部に弱さがみられることから、生産は横ばい圏内の動きとなっている。

機械・同関連部品等では、工作機械は、中小企業の設備投資姿勢の慎重さが後退しているほか、内外需要の増加により、生産は緩やかに回復している。成形機は、内外需要の増加により、生産は緩やかに回復している。計器は、自動車向け等の需要が堅調なことから、生産は高めの水準で推移している。バルブは、プラント向け需要が堅調なことから、生産は高めの水準で推移している。

飲料は、弱含んでいる。

個人消費

県内大型小売店(百貨店、スーパー)売上高(当店調べ<店舗調整前>)をみると、7月は一部に弱さがみられるものの、消費者マインドの持ち直しを背景に緩やかに回復しつつある。

家電販売は、7月は一部に持ち直しの動きがみられることから、全体としては前年を上回った。

自動車販売は、8月は前年を上回った。

公共・住宅投資

公共工事請負額をみると、7月は市町村の発注分が増加したものの、国、県、独立行政法人等の発注分が減少したことから、全体では前年を下回った。

住宅着工戸数をみると、7月は持家、貸家、分譲が増加したことから、前年を上回った。

雇用・所得

有効求人倍率をみると、7月は新規求人数が増加していることから、回復している。

所得面では、6月は常用雇用者数が前年を下回ったものの、一人当たり名目賃金が前年を上回ったことから、雇用者所得は前年を上回った。

物価

消費者物価指数(除く生鮮食品)をみると、7月は交通・通信や光熱・水道が下落したことを主因に、前年を下回った。



SUWA SHINKIN BANK

諏訪信用金庫

長野県岡谷市郷田二丁目1番8号

TEL 0266-23-4567 FAX 0266-23-8044

<http://www.suwashinkin.co.jp/>